



竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com ホームページ <http://yukari-0031.xsrv.jp>

お弁当は作れても、教室は冷やせません！

子ども達の学習環境こそ優先して…。

松尾市長は、「小中学校普通教室空調設備設置を3年間検討する。」と言っています。設計・工事で3年。「あと6年間、猛暑の教室で勉強して下さい」と言っているようなものです。現在、4年生以上の子ども達は、義務教育の期間中、空調の効いた教室で学習することができません。

今年の2月、鎌倉市はあと2年間(26・27年)残っていた市の実施計画を、すべてリセットして、新たに今年から始まる3年間(26・27・28年)の実施計画を発表しました。理由は財源不足が生じたためとしています。

計画の見直しは重要なことですが、問題はその中身です。今回から、市が実施する事業を2種類に分け、①実施事業…市が行うすべての事業。②重点事業…この3年間に、優先的にとり組み、着実に進捗させる事業としています。

では、「何を重点事業とするのか」その要件を2月の定例会で質したところ、

*安全な生活の基盤づくりとなる事業

*緊急性・優先性・具体性のある事業

との答弁でした。

私は、昨年9月から、4回にわたって、一般質問の中で、小中学校の普通教室に空調設備を設置することは緊急課題であると訴えてきました。現在、空調設備設置は、市の重点事業に位置付けられてはいますが、「3年間検討」としています。そもそも、検討に3年間もかかりません。**市長が、決断さえすれば、1年半で25校に空調は付きます。**鎌倉市の財政は、他市と比べて決して厳しい状況にあるとは言えません。鎌倉市議会は、2月に、空調設備設置を求める陳情が、総員挙手により採択されています。しかし、3年間、ひたすら検討!検討!検討!と言い続けています。市長には前倒しをする意思もみられません。

「鎌倉市は中学校給食が先なんですか？」

某市教育委員会

重点事業(52項目)の一つに、「中学校給食実施」も挙げられており、3億4730万円が事業費として見込まれ、今後工事が進められます。先日、某市教育委員会に視察に出かけた折、「鎌倉は、中学校給食が先ですか。どう考えても、空調が先でしょう!」言われてしまいました。**近年の猛暑が続く中、中学校給食を先に実施した市はありません。市長!判断間違えていませんか?**

自治体名	空調設備 設置年度	中学校給食 開始年度
横浜市	H23~25	未
川崎市	H20~21	未
横須賀市	H24	未
逗子市	H21	未
大和市	H5~19	S48
海老名市	H22	H22(同時)
綾瀬市	H1~15	S41
相模原市	H18~22	H23
藤沢市	H25~26	未
秦野市	H26~	未
座間市	H12~26	未
厚木市	H25~	H19
南足柄市	未	S38
小田原市	未	S47
三浦市	未	S55

介護予防サービスが、市の事業に！鎌倉市の考え方、力量は大丈夫か？

6月18日、介護保険制度改革を柱とする法案が国会で成立しました。年々介護保険サービス受給資格者が増え続ける中、財源の確保が厳しくなり、制度の見直しがなされたわけです。その中身の一つとして、「訪問介護・通所介護」が、市の事業に移行することになりました。ということは、サービスの種類や内容・運営基準・利用料金も市が決めることとなります。また、ボランティアも含む社会資源の活用もより一層求められています。そこで、今心配されているのが、①自治体間格差が生まれるのではないか。②サービスの低下が起こるのでは

先生が忙しいと学校はどうなるの？

6月12日の一般質問で、私が「教職員の多忙化解消の必要性」について訴えた2週間後、朝日新聞に、「OECD中学校教員調査、勤務時間最長」という記事がいきみじくも載りました。

私が議会で、鎌倉市の教職員の多忙な状況を訴えている最中、自民党議員からヤジが飛び続けましたが、この記事をどのように読んだのでしょうか。

日本の教員は参加国中①勤務時間が最も長い。②指導への自信が最も低い。③多忙な中、指導に集中できずにいる。ことが分析結果として出ました。鎌倉市の教員も例外ではありません。2013年度調査では一か月に80時間以上超過勤務をした教員が小学校7人、中学校で175人でした。

多忙であることによって、本来一番大切にされなければならない「一人一人に目が行き、魅力ある授業準備ができる環境」が損なわれてはなりません。多忙化解消のとりくみの一つとして、①非常勤講師の配置を増やす。働く環境を守るとりくみとして、②教職員のための安全衛生委員会の設置を強く求めました。



ないか。③介護職員の処遇の低下、事業者の撤退がおこるのではないかと…ということです。そこで、いくつかの質問を通して、鎌倉市の姿勢・考え方を質しました。(以下、市の答弁)

- * 地域包括支援センターの増設を検討する。
- * 近隣市との連絡会を通して情報共有をする。
- * 利用者のニーズ・現場の意見や実情把握に努めながら制度設計をしていく。
- * 専門的なサービスの質の低下が起こらないよう工夫をしていく。
- * 退院支援・在宅医療と介護の連携を図るとりくみを充実させていく。

今後も引き続き質問していきます。

主な議案とその結果

①ごみ処理有料化の条例が可決されました。

賛成・・・高橋・小野田・永田・日向・河村・渡辺・久坂・前川・山田・池田・岡田・長嶋・千（13人）

反対・・・納所・大石・西岡・赤松・吉岡・三宅・保坂・中澤・上畠・竹田・松中（11人） 退席・・・渡邊

2票差で、鎌倉市民の皆さまから新たなご負担を頂くことになりました。反対討論には、4人が立ちましたが、賛成者13人どなたからも賛成意見が述べられませんでした。(私の反対理由は、ブログに記載)

②「集団的自衛権行使を容認する憲法解釈についての意見書」提出議案（陳情を受けての委員会提案）が可決されました。

賛成・・・高橋・小野田・永田・日向・前川・山田・池田・赤松・吉岡・三宅・保坂・竹田・松中・千（14人）

反対・・・河村・渡辺・中澤・上畠・岡田長嶋・久坂（7人）退席・・・納所・大石・西岡・渡邊（4人）

（竹田は意見書提出に賛成の立場で討論に立ちました）

③次の陳情が本会議で可決しました。

●市が定めたルールのを市のホームページに掲載すること

●鎌倉市を訪問する学童・生徒のための昼食等の施設確保

④議員提案2件

●特定秘密保護法を一旦廃止し、国民的議論をつくすこと（否決）（竹田は提案者になりました）

●北朝鮮による日本人拉致問題の真相究明と早期解決を求める（可決）（竹田は賛成しました）